



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学総合博物館ミュージアムマイスター：認定コースのご案内
Author(s)	北海道大学総合博物館ミュージアムマイスター事務局
Citation	2023年度
Issue Date	2023
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/88271">https://hdl.handle.net/2115/88271</a>
Type	book
File Information	MuseumMeister_2023.pdf



# GUIDEBOOK

The Hokkaido University Museum

**MUSEUM  
MEISTER**

北海道大学総合博物館

ミュージアムマイスター

認定コースのご案内 2023年度



**MUSEUM MEISTER**  
— HOKKAIDO UNIVERSITY —

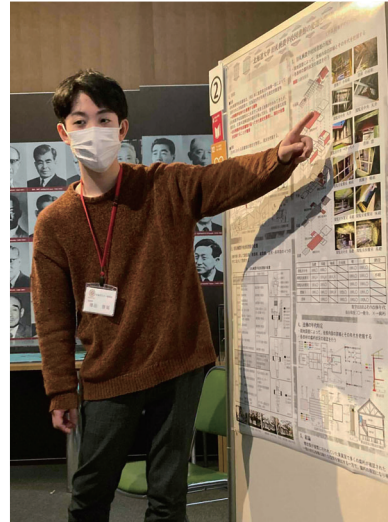
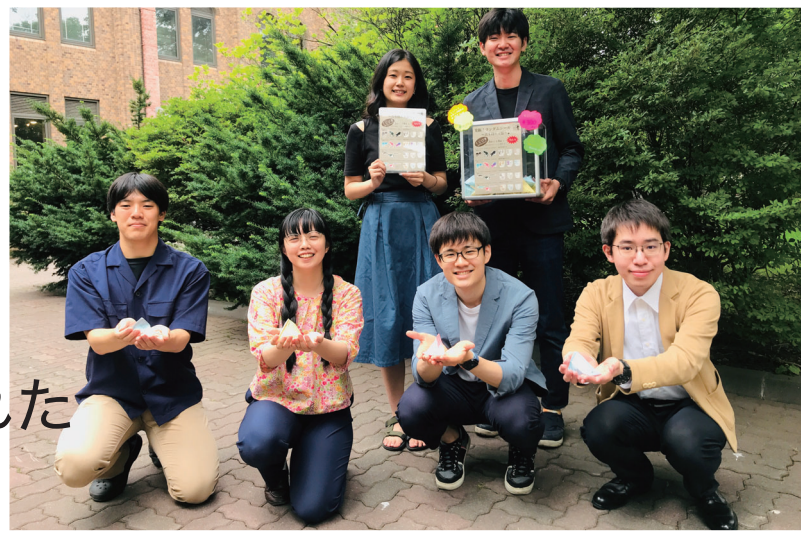
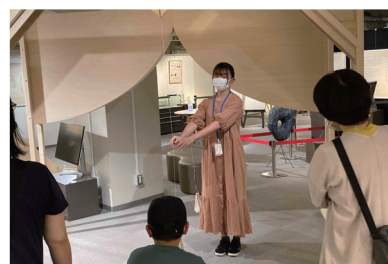
[www.museum.hokudai.ac.jp](http://www.museum.hokudai.ac.jp)





# INDEX

- 01 多様に専門化された時代にこそ求められるミュージアムマイスター
- 02 ミュージアムマイスター認定コースの概要
- 03 開講科目一覧
- 04 開講科目の紹介
- 06 特集  
「マイスターに聞いてみよう！」
- 08 登録申し込みについて



## 多様に専門化された時代にこそ求められる ミュージアムマイスター

皆さんは、北海道大学の学生として、専門分野について深く学ぶこと目指し、旺盛な好奇心を持ち、努力を積み重ねながら日々を送っていることと思います。総合大学である本学では、様々な分野の先端的な研究・教育が行われており、次世代を担うみなさんの期待にこたえる専門教育の場ができています。

一方で、北海道大学が、建学以来掲げてきた理念のひとつに「全人教育」があります。総合博物館は、学科や学部の垣根を超えて、広い分野を学ぶことができる本学の恵まれた環境を最大限に活用した「全人教育」を実践したいと考えました。「博物館を舞台とした体験型教育」課程を設定し、広い分野の知識を講義や実習で習得するだけでなく、博物館が主宰する課外演習や活動を通じて実践的に学ぶコースとしてつくられたのが、「ミュージアムマイスター」認定コースです。

本コースでは、一定水準をクリアした学生を「ミュージアムマイスター」として認定します。しかし、平成21年度から始まったこのプログラムで、誕生したマイスターはまだ52名です。これは、この称号がいかにかに選りすぐられた人材に与えられるものであるかを示しています。本コースで我々が重視するのは、単に知識だけではなく、現代社会において必要とされる「社会貢献のための高い見識と情熱」、「人間社会の持続的発展のために貢献できる知恵」を持つ人材の育成なのです。これは、まさに、北海道大学が目指す「全人教育」の完成形であるといえるでしょう。皆さんもマイスターを目指して、より充実した学生生活を過ごしてみませんか。



# ミュージアムマイスター 認定コースの概要

「ミュージアムマイスター認定コース」とは、課題探究能力、協調性と自主性を備え、問題解決能力、コミュニケーション能力、マネジメント能力を持ち、自己評価の視点を身に付けた北大生を認定する教育システムです。シラバスの中から、北大総合博物館が認定した科目を履修し、さらに、博物館が主催するプロジェクトや講座に参加して、必要なクレジット数を取得し、一定基準の成績を修め、プレゼンテーションを含む面談をクリアした学生を、北大総合博物館長が「ミュージアムマイスター」として認定します。北海道大学の全学部・全大学院の学生が受講可能です。

## ● 受講方法

下記の通り科目種別(A~D)の手続きに従って、受講申請を行ってください。大学院生が学芸員養成課程関連科目以外のABの科目を聴講希望する場合は、まず、ミュージアムマイスター事務局にお問い合わせください。

### A 全学教育科目 (総合科目、一般教育演習、主題別科目)

高等教育推進機構・教務課に、指定の期日までに履修届を提出してください。

### B 学部専門科目

他学部学生が履修する場合は、担当教員にミュージアムマイスター認定コースの一環として参加する旨をご連絡ください。(履修は所定の申請を行えば認められますが、卒業認定に関わるかは学部によって異なります。マイスターコースのクレジットは取得することができます。)

### C 大学院専門科目・大学院共通授業科目

学部学生も3年生以上は履修可能です。その場合は、担当教員にミュージアムマイスター認定コースの一環として参加する希望を伝え、了承を得て、ミュージアムマイスター事務局にご連絡ください。(マイスターコースのクレジットは取得できませんが、学部学生は単位を取得できないため、履修届を提出する必要はありません。)

### D オフカリキュラム・プログラム

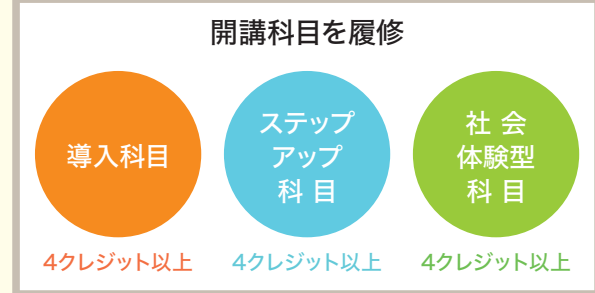
通常の授業枠を超えて博物館が独自に開講するプログラムです。内容は、企画展の展示解説やセミナー運営など様々です。受講生は自分の空き時間を利用してプログラムに参加します。博物館独自のプログラムであるため、関連情報はシラバスには掲載されていません。卒業認定に関わる単位は取得できませんが、マイスターコースのクレジットは取得できます。受講生募集は、博物館ウェブサイトや構内ポスターで前期・後期に各1回行います。今後の予定などはミュージアムマイスター事務局までお問い合わせください。

#### ◎クレジットについて

クレジットはミュージアムマイスター認定コース独自のものです。大学院授業やオフカリキュラムのプロジェクトで認定されるクレジットは、卒業認定に関わる単位とは異なります。また「ミュージアムマイスター認定コース」で必要な科目と「学芸員資格取得」に必要な単位は異なります。

## ● 認定までの流れ

**事務局にお問い合わせ**  
開講科目の確認・登録手続き  
(1年次より随時受付可)



**全履修科目・クレジット数の確認**  
上記の各科目4クレジット、  
合計12クレジット以上取得

**認定条件・基準GPAの確認**  
学部生=当該年度学生の学年平均点以上  
大学院生=所属年度のGPAが3.0以上、秀1つ以上  
GPAの算出は事務局が行います。  
事前に知りたい方はお問い合わせください。

**事務局に認定申請**  
成績証明書、修了認定申請書\*を持参  
(3年次以降の申請が望ましい)

**書類審査・プレゼンテーションを含む面談**

**認定**

\* 修了認定申請書は「ミュージアムマイスター 修了認定申請書」で検索、もしくはミュージアムマイスター事務局までお越しください。

# 開講科目一覧

●下記の科目情報は令和4年3月1日現在のものです。変更になる場合もありますので、開講学期・曜日・時限についてはシラバスや各掲示板も必ず確認してください。

科目種別	授業名	開講時期	曜日(時限)	責任教員	クレジット数
A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] 生物の多様性	1	水曜(5)	柁原 宏	2
A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] フィールド科学への招待	1	金曜(5)	四ツ倉 典滋	2
A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] 「モノ」+「コト」+「ヒト」=北大総合博物館	1	木曜(5)	阿部 剛史	2
A 全学教育科目(総合科目)	[人間と文化] アイヌ・先住民研究の現在	2	木曜(5)	山崎 幸治	2
B 文学部専門科目	博物館概論	1	水曜(1)	佐々木 亨	2
B 文学部専門科目	博物館教育論	1	木曜(1)	今村 信隆	2
B 文学部専門科目	博物館資料論	1	金曜(5)	久井 貴世	2
B 文学部専門科目	博物館経営論	2	火曜(5)	佐々木 亨	2
B 文学部専門科目	博物館情報・メディア論	1	水曜(5)	久井 貴世	2
B 文学部専門科目	博物館展示論	2	金曜(5)	山崎 幸治	2
B 文学部専門科目	博物館資料保存論	1	火曜(5)	未定	2
A 全学教育科目(一般教育演習)	フィールド体験型プログラム ー人間と環境科学ー[1]	1	集中	中村 剛	2
A 全学教育科目(一般教育演習)	フィールド体験型プログラム ー人間と環境科学ー[2]	2	集中	中村 剛	2
A 全学教育科目(一般教育演習)	International Archaeological Field School in Rebun Island	1	集中	加藤 博文	2
A 全学教育科目(主題別科目)	[芸術と文学] 学芸員から見た美術の世界	1	月曜(5)	吉崎 元章	2
A 全学教育科目(主題別科目)	[芸術と文学] 札幌と音楽文化	2	木曜(5)	三浦 洋	2
A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] ヒゲマ学入門	2	水曜(5)	増田 隆一	2
B 水産学部専門科目	水圏生物学	春	火曜(3~4)	河合 俊郎	2
B 水産学部専門科目	魚類学	春	月曜(1) 水曜(2)	今村 央	2
B 水産学部専門科目	魚病学	夏	火曜(1) 金曜(3)	笠井 久会	2
B 水産学部専門科目	水族館学	春	木曜(3~4)	田城 文人	2
B 文学部専門科目	芸術学: 芸術論の歴史 2023	1	水曜(4)	今村 信隆	2
C 文学院専門科目	博物館・文化財研究特殊講義: 博物館と市民・地域社会 2023	1	火曜(4)	佐々木 亨	2
C 大学院共通授業科目	博物館学特別講義 I: 学術標本・資料学	秋・冬	金曜(5)	首藤 光太郎	2
D 総合博物館・オフカリキュラム	パラタクソノミスト養成講座	—	随時*	—	0.5~1
C 理学院専門科目	博物館コミュニケーション特論 (学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価)	1	木曜(4)	湯浅 万紀子	2
C 大学院共通授業科目	博物館コミュニケーション特論 I 学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価	春・夏	木曜(4)	湯浅 万紀子	2
C 理学院専門科目	博物館コミュニケーション特論 (ミュージアムグッズの開発と評価)	2	水曜(4)	湯浅 万紀子	2
C 大学院共通授業科目	博物館コミュニケーション特論 III ミュージアムグッズの開発と評価	秋・冬	水曜(4)	湯浅 万紀子	2
C 理学院専門科目	理科教育課程マネジメント特論	2	金曜(4)	山田 邦雅	2
D 総合博物館・オフカリキュラム	学生参加プロジェクト (展示制作、展示解説など)	—	随時*	湯浅 万紀子	1~2
D 総合博物館・オフカリキュラム	卒論ポスター発表会 (発表、運営)	—	2月下旬~ 3月上旬	湯浅 万紀子	2

※ 受講者募集の案内は、北大総合博物館ウェブサイトに掲載されます

## 導入科目

環境・人間・文化に関する基礎知識を学習する科目や導入的なフィールド体験型科目。博物館の存在意義や活動についての基礎知識を学習する科目。



### 全学教育科目(総合科目)

- ・[環境と人間] 生物の多様性
- ・[環境と人間] フィールド科学への招待
- ・[環境と人間] 「モノ」+「コト」+「ヒト」=北大総合博物館
- ・[人間と文化] アイヌ・先住民研究の現在

### 文学部専門科目

- ・博物館概論
- ・博物館教育論
- ・博物館資料論
- ・博物館経営論
- ・博物館情報・メディア論
- ・博物館展示論
- ・博物館資料保存論

## ステップアップ科目

実物資料の扱い方やフィールドワークの方法を学習する科目や講座。博物館の活動と運営について理解を深める科目。



### 授業紹介

#### ●水族館学

水族館をめぐる学問分野は非常に広範囲にわたっています。水産学、動物学、水質化学などの自然科学と、博物館学、経営学、教育学などの人文科学を総合的に理解することで、水族館とは何かということを学習します。また、水族館で実際にやっている研究活動や日常の仕事について、水族館の職員になるための過程についても紹介します。

本講義は、実際に水族館で活躍している方々が講師を担当します。今年度は鴨川シーワールド国際海洋生物研究所所長の荒井一利氏、元大阪海遊館館長の西田清徳氏、沖縄美ら島財団水族館事業部統括の佐藤圭一氏、おたる水族館海獣飼育係長の三宅教平氏を予定しています。

水族館職員を目指す学生にとっては、水族館の職員と接する機会ができるまたとないチャンスです。



### 全学教育科目(一般教育演習)

- ・フィールド体験型プログラム 人間と環境科学―[1]
- ・フィールド体験型プログラム 人間と環境科学―[2]
- ・International Archaeological Field School in Rebus Island

### 全学教育科目(主題別科目)

- ・[芸術と文学] 学芸員から見た美術の世界
- ・[芸術と文学] 札幌と音楽文化

### 全学教育科目(総合科目)

- ・[環境と人間] ヒグマ学入門

### 水産学部専門科目

- ・水圏生物学
- ・魚類学
- ・魚病学
- ・水族館学

### 文学部専門科目

- ・芸術学: 芸術論の歴史 2023

### 文学部専門科目

- ・博物館・文化財研究特殊講義: 博物館と市民・地域社会 2023

### 大学院共通授業科目

- ・博物館学特別講義Ⅰ: 学術標本・資料学

### 総合博物館・オフカリキュラム

- ・パラタクソノミスト養成講座

#### ●博物館学特別講義Ⅰ: 学術標本・資料学

「博物館学特別講義Ⅰ」では各専門分野における標本・資料の意味、取り扱い方を理解します。具体的には、標本・資料の採取・収集法、保管法、利活用の技法、データ整理・公開法などについての知識や考え方を習得します。各分野の教員が交替りで講義をするオムニバス形式の授業で、自然史系として1)海藻、2)陸上植物、3)昆虫、4)昆虫データベース、5)魚類、6)哺乳類・鳥類、7)古生物、8)分子系統進化を、文化史系として9)考古学、10)動物考古学、11)言語学、12)民族学、13)標本史、14)映像・科学技術史を取り扱います。

学芸員資格のアドバンスコースとして位置付けていますが、同時に自然史・文化史を対象とした各研究分野への理解を深め、文理を融合した広い視野を持った教養人としての資質も身につけます。



## 社会体験型科目

学生が博物館での活動を通じて社会とつながる実践と評価を行う科目やプロジェクト。博物館の展示や場を活用したプロジェクトの企画・運営・評価に参加したり、学生の研究成果を市民に向けて発信して意見交換する。



### 理学院専門科目

- ・博物館コミュニケーション特論 (学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価)
- ・博物館コミュニケーション特論 (ミュージアムグッズの開発と評価)
- ・理科教育課程マネジメント特論

### 大学院共通授業科目

- ・博物館コミュニケーション特論Ⅰ 学生発案型プロジェクトの企画・運営・評価
- ・博物館コミュニケーション特論Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価

### 総合博物館・オフカリキュラム

- ・学生参加プロジェクト (展示制作、展示解説など)
- ・卒論ポスター発表会 (発表、運営)

### 授業紹介

#### ●卒論ポスター発表会

北海道大学を卒業するさまざまな学部の4年生が、4年間の研究の成果を大きな1枚のポスターにまとめて発表します。学会での発表とは異なり、市民や他分野の学生にも理解できるようなポスターを制作し、わかりやすく説明することが求められます。中間発表会を複数回行い、教員の指導を受け、発表会に臨みます。



### 参加者の声

◎市民や他分野の研究者など普段あまり接することのない方々に、私の研究をいかに理解していただけるか、あるいはその成果を面白いと思っていただけるかについて、内容はもちろんのことポスターのレイアウトや発表の際の話し方に至るまで、多くの点について先生方や運営スタッフ、また発表者仲間からご指導いただき、改善しました。その過程で、自分一人で行うだけでは得られない様々な気づきを得られたことは、大きな収穫でした。発表を聴いた方々からの「面白い」の言葉は、何よりも嬉しかったです。

◎報道倫理に関して研究して終わるのでなく、議論の進展に貢献したいと考え、参加しました。あらゆる層に伝える説明は予想以上に難しかったですが、中間発表会での貴重な助言を通じて準備できました。来場者から積極的に質問や意見をいただいた他、しばらく考え込む方も何人も見られ、議論の進展という意味で一定の価値ある発表ができたと感じました。中学生から報道のプロまで幅広い方からのコメントには予想外の方向からの鋭いものも多く、文献以外に人々との対話を通じて得られる知見も活用していく重要性を感じました。

#### ●学生参加プロジェクト

市民に向けた大学博物館関連プロジェクトの企画・制作・運営・評価などに参加します。学生だけではなく、博物館教職員やボランティアと協働することで、コミュニケーション能力やマネジメント能力を養うことを目的としています。授業や普段の学生生活では味わうことのできない、貴重な社会体験の場です。

過去のプロジェクト: 企画展示解説/卒論ポスター発表会の運営 他多数



### 受講者の声

#### 夏季企画展の展示解説

◎担当した当初は覚えた解説をするのに精一杯でしたが、次第に自然に解説できるようになり、来館者の反応を見る余裕が生まれました。初めは1パタンしかなかった解説も、来館者の様子や年代によって解説の長さや言葉遣いを変えることができるようになり、自身の成長を感じました。自分の解説によって展示を理解・納得してくれる来館者がいることで、解説員の必要性も実感しました。初対面の来館者とコミュニケーションをとった経験を活かし、これからも様々な人と関わってまいります。

#### 卒論ポスター発表会の運営

◎大学における専門的な研究が学生によってどのように専門外の人々に伝えられるのか、その現場を一番近くで見たいと思い、運営スタッフに参加しました。中間発表会を通して、発表が仕上げられていく様子を目の当たりにできました。運営スタッフとしての一連の取り組みを通して、コロナ禍という制限がある中でも常に最善を模索して準備を重ねて工夫すればよりよい運営ができるという達成感と、当日の予想外の出来事に臨機応変に対応することの重要性を実感できました。

# マイスターに聞いてみよう!

## 新マイスターからの message

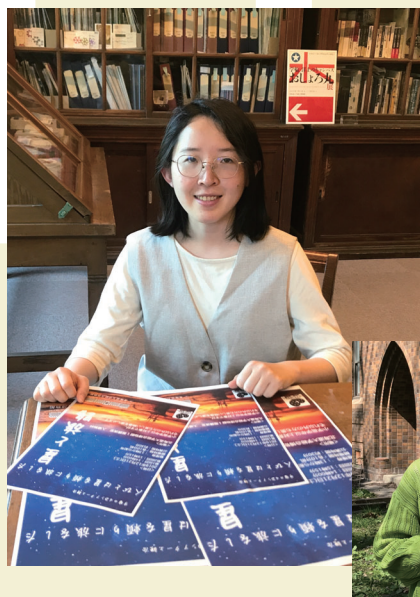


### message 1

私はゾウやマンモスが大好きです。しかし、博物館にはこれらの展示はあるものの、ミュージアムショップにはこれらを題材にしたグッズがありませんでした。ミュージアムマイスター認定コースを通して、実際に自分の手でグッズを生み出すことができ、大変嬉しく思います。商品化に至るまでは、作り手と売り手の双方が納得できるような商品を作る大変さや、立場を越えたコミュニケーションの重要性をひしひしと感じました。また、卒論ポスター発表会で学部一年生の方と一緒に広報用の掲示物を作り上げたことも印象に残っています。所属も学年も様々な学生が集まる中で、自分だからこそできることを考え、一緒に何かを成し遂げるという経験は他では得難いものでした。開講科目は面白いものばかりですので、マイスター認定を目指すか迷っている方も、まずはひとつ受講してみてください。

## 安達 寛子

2021年度  
生命科学院 博士課程2年次に  
マイスターに認定

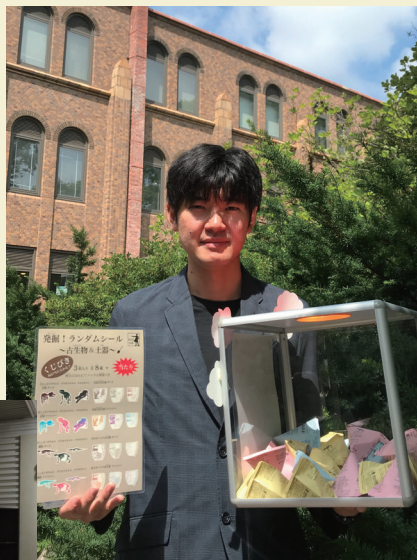


## message 2

ミュージアムマイスター認定コースの魅力は、何よりも新たな経験をえられることです。博物館での様々な活動に参加できるほか、自分の専門領域でない授業を受講することも可能です。印象に残っているのは、「ミュージアムグッズの開発と評価」です。この授業では、「発掘!ランダムシール」のデザインをはじめ販売価格、販売方法まで幅広く手がけました。学術標本の魅力を十分に伝えつつ、商品として売れるグッズを制作するのは至難の業でした。学生や教職員、ショップの皆様の多大なる協力のもと、販売に至ることができました。夏休みに子どもたちが楽しそうにくじを引く姿を見て、感無量でした。マイスターコースでえられる経験は確実に自分の自信に繋がっていきます。興味がある方は、是非チャレンジしてみてください。

## 大藪 隼平

2021年度  
理学院 修士課程1年次に  
マイスターに認定



## message 3

「博物館に関わりたい!」その一心で始めたミュージアムマイスター認定コースは、函館キャンパスへの移行のためにほぼ1年で修了する必要があり、大変でしたが、得られたものがとても大きかったです。宇宙の4Dシアターをはじめプロジェクトの運営では、新しい分野に対する戸惑い等を感じて当初は失敗することが多く、自分自身にいらだつこともありましたが、次第に「今何が必要か」を考えられるようになり、来館者の方に「面白かった」と言っていただくことができました。一番の宝物は、人のご縁です。普段なかなか話す機会のない博物館の先生やスタッフ、社会人ボランティア、他学部の方々と話すことは自分自身にとってかけがえのないものとなりました。一度きりの大学生活、是非マイスターコースに飛び込んでみてください。

## 長田 幸子

2021年度  
水産学部4年次に  
マイスターに認定

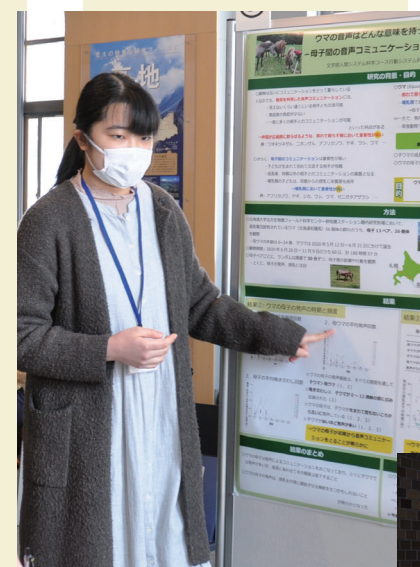


## message 4

ミュージアムには人や物事が集まるため、新しい発想のきっかけがあります。北大はキャンパス全体がミュージアムと言えますが、ミュージアムマイスター認定コースでは特に総合博物館がもつ資源を知り、それを活かした企画の完遂までが講義に組み込まれています。中でも印象深いのは「博物館工学」です。作品配置や背景の色遣い、古い什器の活用など、空間デザインの工夫によって見る人にインパクトを与える展示が紹介され、その技術を学びました。この学びは、課外活動にも応用できます。私が同じ学科の仲間と自主的に実施した総合博物館での「建築の学生」展では、展示空間を工夫したことで来場者から高評価を得られました。広い分野に応用できる何かをやり遂げる力を修得したいなら、本コースの受講がお勧めです。

## 佐々木 悠貴

2021年度  
工学院 修士課程1年次に  
マイスターに認定



## message 5

ミュージアムマイスター認定コースは「学術的知見を市民にわかりやすく伝える」ということについて、よく考え学ぶ機会になりました。さまざまな専攻の大学院生が受講した授業「学生発案型プロジェクトの企画・実施・評価」では、総合博物館の魅力を紹介する動画企画を実施し、ポプラチェンバロについて解説する動画を制作しました。博物館のチェンバロボランティアの方への取材、親しみやすい会話形式の台本作り、カット割り、テロップのフォントに至る細部まで、チームのメンバーと話し合いを重ねて「伝える」ことに向き合い追求した時間は、実りあるものだったと感じます。自分自身の専門分野に加え、マイスターコースを受講したことで実践的な学びの機会も得ることができ、充実した時間を過ごせました。

## 三井 和

2021年度  
文学院 修士課程1年次に  
マイスターに認定



## message 6

学芸員資格を取りたいと思っていた私は、勉強になるかもしれないというほんの些細なきっかけでミュージアムマイスター認定コースに登録しました。また、将来動物にかかわる仕事がしたいと考えていたこともあり、水産学部の授業が受けられるということも魅力的でした。実際に修士1年のときに先生方のご厚意で水族館学を履修させていただいて、文学部では学べなかった水族館の実態について学ぶことができ、とても嬉しかったです。卒論ポスター発表会では発表者および運営スタッフとして携わることができ、立場が変わるとこんなにも見えるものが変わるのかと勉強になりました。マイスターコースに登録してさまざまな授業やプロジェクトに参加できたことで、学びが広がったと思います。

## 和田 知里

2021年度  
文学院 修士課程1年次に  
マイスターに認定



# 登録申し込み について

北大総合博物館のウェブサイト  
(<https://www.museum.hokudai.ac.jp/education/museummeister/>)  
からダウンロードし、以下の記入例を参考にして、  
必要事項を記入してください。

## ※注意事項

黒のボールペンではっきりと記入してください。  
書き間違い、記入漏れ等がないか、もう一度しっかりと見直してください。

科目名の左側の欄に、該当する  
マークを記入してください。  
該当する科目がない場合には、  
未記入でも構いません。

既に履修した科目=○  
現在履修している科目=○

メールアドレスには、PCメール  
のアドレスを記入してください。  
メールアドレスは、ハイフン、アン  
ダーバー、ドット等をはっきりと  
記入してください。



### ミュージアムマイスター認定コース 登録申込書

ミュージアムマイスター事務局 行 整理番号 \_\_\_\_\_

私は、ミュージアムマイスター認定コースに下記の通り登録を申し込みます。

フリガナ <u>ホク ダイ タ</u> <u>ロウ</u>	申し込み年月日 <u>2023</u> 年 <u>4</u> 月 <u>20</u> 日
氏名 <u>北大 太郎</u>	生年月日 <u>西暦</u> <u>2004</u> 年 <u>12</u> 月 <u>1</u> 日
〒 <u>060-0810</u> フリガナ <u>サツボロシ キタク</u>	性別 <input checked="" type="radio"/> 男 ・ 女
連絡先住所 <u>札幌市北区</u>	学部・学年 <u>文学部 1年</u>
<u>キタ 10 ジョウ ニシ 8 チョウメ ホクカイドウダイガク</u>	学生番号 <u>00000000</u>
<u>北 10 条 西 8 丁目 北海道大学</u>	電話番号 <u>011-706-4704</u>
	Eメールアドレス <u>taro@museum.hokudai.ac.jp</u>

**履修科目について** リーフレットを参考に履修科目の左側の欄に、該当するマークを記入してください。  
既に履修した科目=○ 現在履修している科目=○

導入科目	ステップアップ科目	社会体験型科目
<input type="checkbox"/> [環境と人間] 生物の多様性	<input checked="" type="checkbox"/> フィールド体験型プログラム—人間と環境科学—[1]	<input type="checkbox"/> 博物館コミュニケーション特論 (学生発表型プロジェクトの企画・運営・評価)
<input type="checkbox"/> [環境と人間] フィールド科学への招待	<input type="checkbox"/> フィールド体験型プログラム—人間と環境科学—[2]	<input type="checkbox"/> 博物館コミュニケーション特論 I 学生発表型プロジェクトの企画・運営・評価
<input type="checkbox"/> [環境と人間] 「モノ」+「コト」+「ヒト」=北大総合博物館	<input type="checkbox"/> International Archaeological Field School in Rebun Island	<input type="checkbox"/> 博物館コミュニケーション特論 II (ミュージアムグッズの開発と評価)
<input checked="" type="checkbox"/> [人間と文化] アイス・先住民研究の現在	<input type="checkbox"/> [芸術と文学] 学芸員から見た美術の世界	<input type="checkbox"/> 博物館コミュニケーション特論 III ミュージアムグッズの開発と評価
<input type="checkbox"/> 博物館概論	<input type="checkbox"/> [芸術と文学] 札幌と音楽文化	<input checked="" type="checkbox"/> 理科教育課程マネジメント特論 学生参加プロジェクト( )
<input type="checkbox"/> 博物館教育論	<input type="checkbox"/> [環境と人間] ヒグマ学入門	<input type="checkbox"/> 卒論/ポスター発表会 (発表、運営)
<input type="checkbox"/> 博物館資料論	<input type="checkbox"/> 水圏生物学	
<input type="checkbox"/> 博物館経営論	<input type="checkbox"/> 魚類学	
<input type="checkbox"/> 博物館情報・メディア論	<input checked="" type="checkbox"/> 魚骨学	
<input type="checkbox"/> 博物館展示論	<input type="checkbox"/> 水族館学	
<input type="checkbox"/> 博物館資料保存論	<input type="checkbox"/> 芸術学: 芸術論の歴史 2023	
	<input type="checkbox"/> 博物館・文化財研究特殊講義: 博物館と市民・地域社会 2023	
	<input type="checkbox"/> 博物館学特別講義 I: 学術標本・資料学	
	<input type="checkbox"/> パラタクソニスト養成講座	

システム管理者記入欄 認定年月日 西暦 年 月 日 登録番号 \_\_\_\_\_



北海道大学総合博物館  
ミュージアムマイスター事務局

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
北海道大学総合博物館2階 研究支援推進員室  
E-mail: [suishin@museum.hokudai.ac.jp](mailto:suishin@museum.hokudai.ac.jp)  
TEL & FAX: 011-706-4704 内線(4704)  
開室日時: 火~金 10:00~16:00

必要事項を記入した登録申込書を持参のうえ、  
ミュージアムマイスター事務局に提出し、登録手続きを行ってください。